

にこにこKitchen 10月28日(木)



ツクイ広島大芝を会場に楽しく開催されました。
食事内容は、ハロウィンカレーライスでした。

自転車安全教室 12月12日(日)



大芝社協(支え合い事業部・交通防犯部)の手伝いのもと、プロの自転車ロードレースチーム「ヴィクトワール広島」の選手

をお招きし、小学生以下の子供達と保護者を対象にした自転車安全教室を大芝小学校にて開催しました。グラウンドで大芝社協の米崎会長から挨拶と紹介を受けて、体育館で交通ルールやマナーなどのお話を聞いた後、グラウンドで自転車の乗り方の指導を受けました。直線・ジグザグ・8の字・交差点・譲り合いなど、みんな熱心に練習していました。小さい子はペダルのない自転車に乗せてもらって楽しんでいました。最後は、にこにこキッチンのお弁当をもらって帰りました。



天使のつどい

12月13日(月)



コロナでお休みしていた天使のつどいが11月8日の第2月曜日から再開されました。12月13日はクリスマスプレゼントの日でした。ボランティアの方々が手作りされた品々が並んでいて、貰った子供たちの笑顔が可愛かったです。

みんなで投稿 お便りコーナー

乾燥した押し花などを貼り合わせて見事な作品にされています

大芝二丁目の宮原久美子さんの作品です。



みんなで投稿お便りコーナー 原稿送付先

〒733-0001 広島市西区大芝三丁目19-4 小滝凡夫宛

Fax 082-237-9336

※匿名でも構いませんが、原稿には必ずお名前とご連絡先をご記入ください。

また、編集者の判断にて内容を精査させていただきます。

「積極的自立支援」



【リハビリ特化型デイサービス】

わたしたちは可能性を諦めません!

福祉に・ずっと・まっすぐ

ツクイ

あなたの声を大切にしたい

2022年 40号

大芝社協だより

<編集・発行> 大芝地区社会福祉協議会広報部 [ホームページ] <https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/oosiba/>

本年も宜しくお願いいたします。



大芝地区社会福祉協議会
会長 米崎 一郎

新年あけましておめでとうございます。

本年も大芝地区社会福祉協議会の活動に、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

昨年も新型コロナウイルスが収束せず、変異株が次々に発生し終わらなき様相を呈していますが、早急な収束を願うばかりです。

社会福祉協議会としては、地域の福祉推進の活動をコロナウイルス感染予防に留意して進めていきたいと思ひます。

皆様方の御多幸をお祈りして、新年の挨拶とさせていただきます。

意見交換会



12月20日(月)、戸田祐二西区長をはじめ、薬師寺保行副区長、藤尾賢二厚生部長、世古敏寿建設部長、石井哲郎建築担当部長、草野富美子地域支援担当課長、6名の西区を代表される方々と大芝地区各町の代表との意見交換会が行われました。

事前に出された各町からの19の意見や要望に西区が答える形で進められ、課題の中には、国や県との関わりがあり、市独自で決められないものもありましたし、直接解決に至らないものもありましたが、前向きな回答で各町内会長も納得されたようでした。

いろいろな要望事項は、各町単位ではなく、大芝地区社会福祉協議会としてまとめていくことの大切さを痛感しました。



子ども110番ウォークラリー

10月22日(金)



大芝地区青少年健全育成協議会(青少協)と大芝地区社会福祉協議会(社協)が大芝小学校に協力して「子ども110番の家ウォークラリー」が行われました。

開催に当たって小学校より、毎日登下校の見守りをしてくれている皆さんへの「感謝の会」がありました。

今年は5年生・6年生の生徒さんが少人数の班に分かれてボランティアの大人と110番の家を探しました。お礼の挨拶をしたり手紙を渡したりしました。事故もなく無事に終わることが出来ました。

ハロウィンを楽しみました。

10月31日(日)



広島青年会議所の広島のまち活性化委員会の事業である「つくろう!たのしもう!ハロウィンランタンプロジェクト」は、早くから町内会や子ども会の人達による準備が進められ、10月2日・16日には新庄の宮境内で廃油キャンドルの作成が行われました。家庭で調理する際に出る廃油を再利用して固め着色アレンジなどを楽しみました。

また16日には、大きく膨らんだ風船に濡れた半紙を何重にも重ねて貼り付け、紙が乾いたら、中の風船の空気を抜いて取り出す方法で巨大ランタンを作っていました。小さいのもありました。31日にはこれらを使って巨大なモニュメントが作られました。他にもスマイルハロウィンチャレンジとして、ダルマ落とし・フリスビー・輪投げ・ビンゴゲーム・ボウリングなどの催しものも楽しめました。大芝小学校の吹奏楽の演奏もありました。キャンドルアートもきれいでした。最後の花火はびっくりしました。



健康長寿部・長寿大学



紙芝居で元気だそうや 広島カープ昔話

10月21日、コロナで中止になっていた「ときめき青春学級 大芝長寿大学」が再開されました。感染予防対策で6町ずつの2部制です。

ひろしま紙芝居村代表の阿部頼繁さんのお断が面白く、笑ってストレス解消しました。

平和を願うつどい

8月に予定されていた「平和を願うつどい」が11月5日(金)に三篠北町集会所で開催されました。

体験談の講師に三篠北町長寿会会員で、被爆者運動県被団協常任相談所相談委員の 小林貴子(あつこ)先生にお願いしました。

映画「夏服の少女たち」「時を超えた兄弟の対話」(各30分)を観たあと、うたごえ協議会員 坪倉民子先生のアコーディオン伴奏で、童謡「秋の唄」、「平和の唄」他、をうたいました。



G.G交歓会

11月15日、10月に予定していた第22回グラウンドゴルフ交歓会を行いました。久しぶりにグラウンドゴルフが出来て大変喜ばれました。



「人生100年時代」

11月18日、シニアライフアドバイザー 波多野俊明さんをお招きし、「人生100年時代」～人生、楽ありゃ苦もあるさ～というお題でお話いただきました。私たち高齢者のたしなみをじっくり聞くことができました。



ふれあいいいきいきサロンだより

三篠町二丁目東

福祉推進委員 林 久子



新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、いきいきサロンの活動は、自粛してきました。しかし「誰々さん元気でおってんかね。」などと耳にする度に恒例のクリスマス会は開催しようと思いました。

12月8日参加者は23名です。町内会長の挨拶では、町内会の人口や12月11日の花火の打ち上げの記事等のお話がありました。

会の前半のくじ引き大会の景品は「赤や白の小さなシクラメンの鉢 福袋」です。昼食ではお弁当に暖かい豚汁を付けました。

後半はじゃんけんゲームをして、一等賞は町内会長自作の寄せ植え鉢、二等賞は福袋、三等賞は商品券がもらえるため、皆、じゃんけんに熱が入りました。

マスクをしていても、元気で明るい顔を見ることが出来て良かったです。次回も楽しいいきいきサロンが開催できることを願っています。

大芝一丁目

福祉推進委員 渡邊 義之



コロナ感染拡大が始まり2年が経過し、私たちの生活様式が大きく変わりました。計画していた行事、催し事がほとんど延期または中止になり人との交流も少なくなりました。しかしここ最近コロナ感染は大幅に抑え込まれており、11月からいきいきサロンを開催することにしました。

【1】11月6日(土)ヤクルトによる「健康になるための出前講座」

20名の参加者が生き生きとした顔つきで熱心に聞かれていました

【2】12月4日(土)クリスマス会を実施 22名参加

グラウンドゴルフホールインワンチャレンジ・ビンゴゲーム・飛行機飛ばし等皆さん笑顔が絶えず楽しいひと時を過ごしました。 ※コロナ感染予防対策をし、会食はしないで弁当は持ち帰りました。

大宮一丁目

福祉推進委員 藤原 茂

認知症 あんしんガイドブック 予防活動編



認知症は他人ごとではありません!

認知症は、記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障が出ている状態で、誰もがなる可能性があります。早期に発見し適切な治療を受けることでその発症を遅らせたり、進行を緩やかにしたりすることがあります。自分に当てはまる症状がないと安心せず、少しでも気になる症状があれば、早めに医師に相談しましょう。

広島市

11月22日コロナ禍の中、緊急事態宣言の合間を縫って今年度2回目のいきいきサロンを開催することが出来ました。

中広地域包括支援センターのお世話により、西区認知症地域支援推進委員の古味佳子先生をお迎えし、「今日から始める認知症予防のおはなし」と題して講義を受けました。総勢13名の参加でしたが認知症あんしんガイドブックを中心にわかり易い説明で皆さん興味深く聞き入っておられました。

認知症は自分自身はもちろん、家族、周囲の人の気づきなど早期発見が大切で、一人で不安を抱え込むのではなく、症状の軽い段階から専門医の適切な治療、家族やかかりつけ医、地域の相談先などに指導を仰ぎ進行を防ぐことが大切です。近年若年性認知症が増加の傾向にあります。日頃から健康管理、食生活の改善、運動習慣、趣味活動など工夫を重ね、脳の活性化を図ることが大切と思われます。今後も地域の皆様の要望を聞き入れながらサロンの企画開催を推進し地域の活性化を図りたいと思います。